

## 日野自動車「データ改ざん問題」から “企業と職場のあり方”を考えよう！

### 経緯

今年3月に、エンジンの排ガスや燃費データの改ざん問題を公表したトラック大手の“日野自動車”では、8月2日に特別調査委員会の報告書を発表しました。

報告書では、不正は少なくとも20年前から行われていたことが明らかになりました。排ガス不正は「2003年度からの排出ガス規制」を機にして、燃費不正では「2006年度からの一定の燃費目標を達成した車両の自動車取得税の軽減」を機にして、データの操作をし始めていました。

### 背景

- ✓ 上に物が言えない。
- ✓ できないことをできないと言えない。
- ✓ 部署ごとの縄張り意識が強く、組織が縦割り。
- ✓ 問題点を挙げると自ら解決の担当にさせられると考えた。
- ✓ ミスを起こした部署や担当者が会議などで責められる。

**調査委員会は「上意下達の気風が強い、風通しの悪い組織になっていた」と問題を指摘している！**

## 原因は「利益至上主義」による「組織風土の劣化」！

昨今、大手企業での相次ぐ不祥事の原因には「利益至上主義」による「組織風土の劣化」が根幹にあると言えます。

組織風土は長年培われてつくられるもので、簡単にはできません。経営の意志は、現場に直接現れます。健全な企業運営のもと、安全で安心して働ける職場の土壌には、それに相応しい「組織風土の確立」が必要不可欠です。

JR東日本の企業体質も差異はありません！組織風土と経営姿勢を糺し、健全な企業体質を取り戻すために、たたかいをさらに前進させよう！